

令和5年度 事業報告



社会福祉法人 知夫村社会福祉協議会

～地域(みんな)で支え合う暮らしづくり～

1、活動概要

令和 5 年度は新型コロナウイルスが感染症法上の 5 類に移行されたことで、交流会などの地域福祉活動を通常の形で再開し始めた年となり、知夫村から指定管理を受けている招福苑の居住部門では、重点目標としてかかげた「日常の楽しみの提供」についても、お茶会や外出支援を積極的に行い、QOL の向上に努めました。令和 2 年度以降、新型コロナウイルス感染症によって、地域福祉活動も大きな影響を受け、活動の休止や縮小等のある中で、これまでの活動内容を見直すきっかけにもなりました。

また、業務効率化を図るため、社内情報共有ツールの導入や介護記録の電子化に取り組み、記録の時間に費やす時間を削減することができました。

次年度は、R5 年度の継続事業と重点的な取り組みを進め、時代と共に変化していくニーズや離島特有の課題解決に向けて、事業を推進してまいります。

2、法人運営事業

(1) 役員会等開催状況

① 理事会 4 回

- 6/1 (6名) 1、令和 4 年度知夫村社会福祉協議会事業報告、決算報告、監査報告及び決算書の承認について
2、令和 5 年度知夫村社会福祉協議会一般会計歳入歳出補正予算(第 1 号)について
3、任期満了に伴う役員選任候補者(案)について
4、令和 5 年度第 1 回評議員会の開催日時及び議事に付すべき事項の決定について
- 6/16 (6名) 1、任期満了に伴う社会福祉協議会会長・副会長・常務理事の選任について
- 12/4 (6名) 1、社会福祉法人知夫村社会福祉協議会職員等の給与等に関する規程の一部改正について
2、社会福祉法人知夫村社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について
3、令和 5 年度知夫村社会福祉協議会一般会計歳入歳出補正予算(第 2 号)について
4、令和 5 年度第 2 回評議員会の開催日時及び議事に付すべき事項の決定について
- 3/18 (5名) 1、社会福祉法人知夫村社会福祉協議会定款第 34 条第 3 項に規定する重要な職員の選任及び解任について

- 2、社会福祉法人知夫村社会福祉協議会職員等の給与等に関する規程の一部改正について
- 3、社会福祉法人知夫村社会福祉協議会資格取得支援制度規程の制定について
- 4、令和 5 年度社会福祉法人知夫村社会福祉協議会一般会計歳入歳出補正予算(第 5 号)について
- 5、令和 6 年度社会福祉法人知夫村社会福祉協議会事業計画(案)について
- 6、令和 6 年度社会福祉法人知夫村社会福祉協議会一般会計収支予算(案)について
- 7、令和 6 年度社会福祉法人知夫村社会福祉協議会一般会計における資金を借り入れる際の会長専決限度額について
- 8、令和 6 年度社会福祉法人知夫村社会福祉協議会一般会計予算を補正する際の会長専決限度額について
- 9、令和 5 年度第 3 回評議員会の開催日時及び議事に付すべき事項の決定について

② 評議員会 3 回

- 6/15(11 名) 1、令和 4 年度知夫村社会福祉協議会事業報告、決算報告、監査報告及び決算書の承認について
- 2、令和 5 年度知夫村社会福祉協議会一般会計歳入歳出補正予算(第 1 号)について
 - 3、任期満了に伴う役員選任候補者(案)について
- 12/12(11 名) 1、社会福祉法人知夫村社会福祉協議会職員等の給与等に関する規程の一部改正について
- 2、社会福祉法人知夫村社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について
 - 3、令和 5 年度知夫村社会福祉協議会一般会計歳入歳出補正予算(第 2 号)について
- 3/26 (8 名) 1、社会福祉法人知夫村社会福祉協議会定款第 34 条第 3 項に規定する重要な職員の選任及び解任について
- 2、社会福祉法人知夫村社会福祉協議会職員等の給与等に関する規程の一部改正について
 - 3、社会福祉法人知夫村社会福祉協議会資格取得支援制度規程の制定について
 - 4、令和 5 年度社会福祉法人知夫村社会福祉協議会一般会計歳入歳出補正予算(第 5 号)について
 - 5、令和 6 年度社会福祉法人知夫村社会福祉協議会事業計画(案)について
 - 6、令和 6 年度社会福祉法人知夫村社会福祉協議会一般会計収支予算(案)について
 - 7、令和 6 年度社会福祉法人知夫村社会福祉協議会一般会計における資金を借り入れる際

の会長専決限度額について

8、令和6年度社会福祉法人知夫村社会福祉協議会一般会計予算を補正する際の会長専決限度額について

③4/4 評議員選任・解任委員会

④監査等

5/23 令和4年度事業実績状況並びに会計処理・決算等の監査(監事)

8/23 令和4年度知夫村補助事業に関する監査(知夫村)

7/7 内部経理監査(本会職員)

3、指定管理事業

(1) 居住部門事業(定員 24 名) “小さな島で、大きな支え”

生活支援ハウス(招福苑)に住む人が、季節を感じながら“生活感のある暮らし”ができるよう支援しています。閉じこもり防止と、交流を目的とした午後のティータイムや誕生日のリクエストメニュー、季節ごとのイベントなどを苑内で行い、楽しみと生きがいの創出に努めています。今年度は、生活をより良くする取り組みとして、生活に必要な消耗品の補充、ゴミ回収などの定額制利用の対象を全居住者に広げ、多目的ホールに共同のゴミステーションを設置しました。昼食前の体操についても、TV 画面で動画を再生する環境を整えたことで、体操への参加率がアップする効果がありました。

入居対象者の条件が緩和された平成 27 年度以降、介護を必要としておられる方にもご利用いただき、現在、介護保険非該当の方から要介護 4 の方まで 21 名の方が共同生活をされています。令和 5 年度は 4 名の方が退所され新たに 5 名の入居者さんを迎えました。

入居者介護度状況(令和 6 年 3 月 31 日現在) 平均年齢 90 歳

非該当	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
2	2	4	4	5	2	2	0

利用実人数 長期居住 25 名



歩実の会(お茶会)



外食(ちぶ里島ラーメン)



外食(小料理屋どんどん)



外出支援(お盆前の墓参り)



花火観覧



誕生日リクエストメニュー



昔の写真展(教育委員会主催)



蛇巻き

(2) 老人介護支援センター事業

高齢者福祉に関する内容について、地域住民からの相談に対して必要な助言や援助を総合的に行いました。併せて自治体や高齢者福祉施設、医療施設など、高齢者福祉を推進する関係機関との連絡調整を行いました。

* 福祉用具の貸与

介護保険の認定を受けていない方にベットや車いすなどの福祉用具を貸し出ししています。(介護保険の認定を受けている場合は、介護保険制度が優先されます)

貸出福祉用具の種類：ベット、車いす、体圧分散マットなど

利用実人数 24名 貸出件数 193件

4、介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業

介護支援専門員 3名が利用者の生活相談、介護相談や関係機関との連絡調整、介護サービスの調整を行っております。

介護保険	認定調査延べ人数	住宅改修	ケアプラン作成延べ件数
R4 年度	30名	5件	41回
R5 年度	25名	4件	31回

(2) 訪問介護事業

訪問介護員 常勤 12名(兼務含む)、臨時介護員 3名で介護保険利用者の居宅を訪問し、身体介護、生活援助等を365日対応で実施しました。

介護保険	利用実人数	延べ利用回数
R4 年度	17名	11,065回
R5 年度	28名	8,900回

(3) 日常生活支援総合事業 訪問相当サービス *サービス提供体制は訪問介護事業と同様です

総合事業	利用実人数	延べ利用回数
R4 年度	5名	379回
R5 年度	5名	384回

(4) 地域密着型通所介護事業

介護職員 常勤 3名(兼務含む)・生活相談員 3名(兼務含む)、看護職員(派遣)1名で小規模ならではのアットホームな雰囲気で行っています。月曜日から金曜日(ただし、国民の休日及びお盆、年末年始を除く)対応で実施しました。

介護保険	利用実人数	延べ利用回数
R4 年度	15名	430回
R5 年度	14名	498回

(5) 日常生活支援総合事業 通所相当サービス *サービス提供体制は通所介護事業と同様です

総合事業	利用実人数	延べ利用回数
R4 年度	17名	199回
R5 年度	12名	131回

(6) 単独短期入所事業(介護保険外)

介護者のレスパイト(休息)、冠婚葬祭、島外通院などの時にご利用いただきました。悪天候や寒波などで一人では不安な時、体調不良時の緊急利用などにも対応しました。

介護が必要な場合は、訪問介護サービス(介護保険)をご利用いただいております。

介護保険外	利用実人数	延べ利用日数
R4 年度	6名	49回
R5 年度	13名	266回

5、村委託事業

(1) 軽度生活援助事業

介護保険の認定を受けていない方にもホームヘルパーの派遣を行いました。区分限度基準額を超過された方へもこの制度をご利用いただきサービス提供を行っています。

	利用実人数	延べ利用回数
R4 年度	22名	995回
R5 年度	20名	1,037回

(2) 自立支援デイサービス事業

囲碁・カラオケ・笑和会・幼なじみ会など趣味の活動や集まりの場を提供しています。



* 概ね65歳以上の要援護者

	利用実人数	延べ利用回数
R4年度	8名	29回
R5年度	5名	19回

(3) 自立支援配食サービス事業

病弱等で食事の提供が必要と認められる方に、食生活の支援及び訪問時の声掛けによる安否確認を行いました。



	利用実人数	延べ利用回数
R4年度	22名	2,492食
R5年度	23名	2,877食

(4) 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターを配置し、地区の健康づくりの会への支援を行いました。

地区での集まりなどで使えるレクリエーション用品を揃え、貸し出し・配達も行っています。

貸出件数 22件

3/21(木)には7地区のサポーター交流会を行いました。

各地区の健康作り交流会の運営に関する情報交換を行いました。島前病院のリハビリスタッフにも参加していただき、レクリエーションの紹介をしていただきました。

参加人数 13名



(5) 認知症対策総合支援事業

認知症の人やその家族を支援するための情報収集、介護、医療等の支援ネットワークの構築、連絡調整、啓発活動などを行いました。

どっさり祭りで、認知症のある方への理解を深める事を目的に、「VR 認知症～認知症を体験する～」を企画し、認知症当事者の視点を体験していただきました。

【体験者の声】

認知症のつらさを少し理解することができました。認知症の方がこんなに大変な思いをしていたとは知りませんでした。認知症の人だけでなく、高齢者に対してどう接するか考えるきっかけにしたい。



(6) 家族介護支援事業

* 介護用品支給事業 対象者 2 名

要介護認定(4・5)を受けておられる方には、年 3 回支給券を発行し、介護に必要なオムツや消耗品などの福祉用品を購入していただいています。

* 家族介護者交流事業(介護者のつどい)

実施回数 2 回 参加者 1 2 名

在宅で介護をする上での悩みや思いを話し合う機会を設けるとともに、リフレッシュしていただくことを目的に交流会を行いました。



(7) 家族介護者教室

10 月 30 日(月)奥田八重子氏を講師にお招きし、認知症サポーター養成講座を行いました。

参加者数 17 名



12 月 8 日(金)本会の職員が講師となり食事に関する相談会を行いました。村内飲食店のお弁当、招福苑の配食弁当、冷凍総菜の試食を行いながら、食の大切さや頑張り過ぎない食生活の提案をさせていただきました。

参加者 15 名

6、地域福祉活動推進事業

(1) 知夫村ボランティアセンター事業(相談受付を随時実施、調整および情報提供、保険手続き)

* 無償ボランティア件数 8 4 件

(配食ボランティア 延べ 2 8 名 招福苑管理ボランティア 1 名)

* ボランティアグループへの支援 3 件

(ボランティア活動保険加入援助)

(2) 福祉団体等への活動助成(知夫村補助金含む)

遺族会、身体障害者協会、老人クラブ連合会、各地区老人会、各地区、小中学校

(3) 民生児童委員協議会との協働事業

要援護者の見守り活動がスムーズに行えるように支援しました。

民生委員・児童委員の活動内容

- ・定例会(月 1 回/招福苑会議室にて)
- ・あいさつ運動(月 1 回知夫小中学校にて)
- ・強化週間・・・高齢者世帯訪問等
- ・ブロック単位研修など
- ・あいさポーター研修



(4) 赤い羽根共同募金の推進

社会福祉事業推進のための財源を集める運動を展開しました。ご協力いただいた募金は、次年度の敬老会事業やあじさい交流会などの事業経費に配分されます。

* 楽しみながら募金ができるガチャガチャマシーンを商店、飲食店にご協力いただいて設置しました。

知夫里島限定缶バッジが大人気です。【実施期間 10月1日～12月31日】

	戸別募金	職域募金	個人募金	その他募金	合計
R4 年度	217,400 円	109,813 円	76,013 円	8,774 円	414,000 円
R5 年度	199,600 円	122,778 円	33,365 円	44,287 円	400,030 円

(5) 福祉学習推進事業

知夫小中学校中学部 2 年生の職場体験受入を実施。介護支援専門員(ケアマネージャー)の同行訪問、ヘルパーさんのお手伝い、配食弁当の配達など、社協の仕事を体験していただきました。



(6) ふれあい訪問

75 歳以上の単身世帯および 80 歳以上の夫婦世帯を対象に社協職員が訪問し、生活の困りごとや不安など福祉ニーズの発掘に努めました。(2 月～3 月頃実施)

訪問世帯数 66 世帯

(7) 敬老事業(共同募金配分金事業)

80歳以上の方への日用品の配布を行いました。

日用品配布 1人世帯 53件 夫婦世帯 17件

また、80歳以上のご夫婦3組に表彰状と記念品を贈呈いたしました。

9月26日(火)招福苑居住者及びデイサービス利用者を対象とした敬老会を開催しました。

参加者 24名



敬老会(職員による余興)



西谷さんと入居者さんのコラボ

(8) あじさい交流会(共同募金配分金事業)

ひとり暮らし高齢者の交流を目的に、6月23日(金)に長尾ウッドハウスで食事会を行いました。

参加人数 12名



(9) 在宅介護サポート事業(共同募金配分金事業)

在宅において介護されている方へ日頃の介護を慰労する事を目的に、要件に該当する世帯に消耗品などの実用品を贈呈しました。

要件：在宅で介護している世帯のうち、要介護者が介護度2以上で認知症などの精神症状や身体症状を有している場合

対象世帯数 6件

(10) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯などに対して、低利または無利子での資金貸付と必要な援助等を行う事により経済的自立度や生活意欲の助長促進、在宅福祉や社会参加を図りその世帯の安定した生活を確保する事を目的としています。

利用件数 0件



(1 1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が地域で安心して生活できるように福祉サービスの相談・手続きなどの援助をします。

本会には 2 名の生活支援員が配置されています。今年度は生活支援員研修を 10 月 27 日に行ないました。

利用者数 0 件

(1 2) 無償移送サービス

通常の車輛では移動が困難な方に対して福祉車両(車いす対応車、寝台車)を利用し、診療所への送迎、島前病院からの退院時の送迎等を行いました(利用については、診療所の医師等との協議によります)

実利用者数 2 名 延べ利用者数 2 名



(1 3) 出産祝い品贈呈 対象家庭 6 件

(1 4) 初盆供え物 対象世帯数 7 件



おむつケーキ♪

(1 5) 広報活動

・広報紙(社協だより/招福苑だより)を毎月 1 回発行し、招福苑・社協事業の内容等を村民に向けて情報提供しています。

・事業の透明性、公共性を高めるため、インターネットで閲覧できるホームページを設けています。

若い世代にも関心を持っていただく為にインスタグラム、フェイスブックなどの SNS にも社協の取り組みや招福苑の日頃の様子など記事をアップしています。<http://chibu-shakyo.sakura.ne.jp>

・島根県の各社協で取り組んでいる事業や活動を PR するウェブサイト「しまねの社協がそこにある」(略してしまそこ)に本会の取り組みの記事を掲載しています。<http://www.shimasoko.jp>



7、その他

(1) 地域包括支援センターへの職員派遣(ケアマネージャー1名、社会福祉士1名)

ケアプラン作成延べ人数23件

(2) 各種関係機関との連携強化

- ・知夫村教育委員会
- ・知夫村立知夫小中学校
- ・知夫村診療所・知夫村村民福祉課(地域ケア会議：随時、高齢者サポート会議：随時)
- ・島前病院、福祉用具のさか、他(サービス担当者会議：随時)
- ・広域連合介護保険課(介護認定審査会への出席：随時)
- ・隠岐島消防署知夫出張所(一人暮らし高齢者宅防火安全指導への協力)

(3) 苦情の受付 1件

(4) 知夫村共同募金会の事務

(5) 知夫村民生児童委員協議会の事務

(6) 知夫村身体障がい者協会の事務

(7) 知夫村遺族会の事務

(8) 自衛消防避難訓練(年2回)

(9) 自然災害避難訓練(年1回)

(10) 福祉避難所開設

* 能登半島地震、津波注意報発令(9名避難)

(11) 感染症対策委員会、高齢者虐待防止委員会(随時開催)

(12) 地域密着型通所介護事業所運営推進会議(年2回)

(13) 高齢者生活福祉センター招福苑運営会議(年1回)

